

誌上屋外実習

はい、それではさっそく、準備にかかりまーす。

刑事が現場に向かう時、けん銃をわきの下にしののばせ、かつこよくジャケットをひるがえし、部屋をとび出す。で、しばらくしたら、ちよ

つとダサイおじさんが鑑識つて腕章の作業服着て、靴とかケースもつて、もそもそやってきて地面に這いつくばったり、なんか粉はたいたり地味にやってる(本物みたことないからあくまでドラマ)。

今日の実習はかつこよくジャケットじゃなくて、もそもその方。

服装は長靴に長袖シャツ、あつ軍手も忘れないでね。

それから、ちよつと大きめのレジ袋と、45リットルのゴミ袋。

両方とも、新聞紙一枚ずつゴワゴワつと丸めたのをいっぱい詰めて膨らませてみて。

ホシの足取りを追え

じゃあ、行くよ。

土手でも休耕地でもいいから、草むら見ついたらその中をゆっくり歩いてみて。

で、時々立ち止まって振り返ると草が倒れてたり、土にくぼみできたり、何となく自分が歩いてきたところたどれるはず。

この踏み後をたどつてもとに戻つて2〜3回往復。たつた数回歩いただけで道とはいかなくても通路っぽくなつたでしょ。

動物つて毎日何度も通るからから、どんどん踏み固められてくつきり線になる。

今、自分がつけたくつきり線ではない通路、家のまわりとか空き地とか休耕地で探してみましょ。

今までは気にもとめなかつた草むらのくつきり線、それが獣道(ケモノ道)。

ホシのアジトをあばけ

ケモノ道見つけたらそれをどんどんたどつてみよう。

きつと、ツバキやグミの茂みとか納屋の裏のササ藪、庭なら、繁茂したアジサイやツツジの茂みにつながつては

ず。その茂みの向こう側に持ってきたレジ袋とゴミ袋置いてみて外からゴミ袋見えないなら、そこはタヌキやアナグマ

のアジト、ゴミ袋の方が見えないようなら、イノシシのアジトになりやすい。レジ袋はタヌキ袋。ゴミ袋はイノシシ袋。どっちも丸見えになるように下枝切つておこうね。本当はこの実習、曲集落でやりたかつたんだけどね。



人の道 ここからレジ袋やゴミ袋が見えなければ『アジト』

ケモノ道

レジ袋

ゴミ袋

次回はもっと詳しいアジトのお話しするね。



人の道 ここからレジ袋やゴミ袋が見えるように下枝を切る。



ケモノ道

レジ袋

ゴミ袋

講師紹介 **井上 雅央氏**

1949年、奈良県出身。

愛媛大学大学院農学研究科修士課程修了、京都大学博士(農学)。

元農研機構 近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム長。

退職後、同センター専門員。宮崎県、熊本県、広島県、静岡県などでアドバイザーとして継続的に活動。

著書に、『これならできる獣害対策』『山の畑をサルから守る』『山と田畑をシカから守る』『60歳からの防除作業便利帳』『ハダニ』『女性がすれはずんずん進む獣害対策』(いずれも農文協)など多数。

